

～自閉症・情緒障がい学級（ひまわり学級）について～

今号のインクルーシブ教育だよりでは、前号で概要を紹介した「特別支援教育」について、本校の自閉症・情緒障がい特別支援学級（以下ひまわり学級）の取組をもとに「個に応じた支援の工夫」や「自立活動」についてお伝えします。

ひまわり学級では、自閉症やそれに類するもの、心理的な要因による選択性かん黙等がある児童を対象としています。一斉指示を理解することに困難があったり、周囲の環境に対してストレスを感じてしまったりすることから、情緒的に不安定になってしまった際に、具体的な方法を通して落ち着きを取り戻すことができるよう、子ども一人一人の障がいの状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行っています。

見通しをもって、意欲的に
学習に取り組むことができる工夫

個に応じた支援の工夫

学習効果を高めるための工夫

友だちの
考えがわかる

4年	6年
1 自立	体育
2 書写	社会
3 書写	音楽
4 算数	国語
5 理科	自立
6 外国語	算数

8:20	交流学級で 健康観察
8:25	朝の会
①	今日のニュース
②	日づけ・行事
③	時間わりのかくにん
④	給食のこたて
⑤	先生のお話

シナリオシート（上）

9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22

日程表（上）
カレンダー（右）



個別学習



一斉指導

自立活動について

「自閉症」や「情緒障害」等障がいのある子どもたちは、障がいによって学習上や生活上で様々な困難さ（発達の凸凹）を抱えています。自立活動ではその困難さを、本人のもっている力を活かしながら改善・克服し、子どもたちが学習しやすくなる、生活しやすくなることを目的とした特別支援学級ならではの学習活動です。自立活動は、特別支援学級において、すべての学びの土台（基盤）となる重要な役割を担っています。また、子どもたち一人一人、抱えている困難さは違うので自立活動の指導内容もそれぞれに応じたオーダーメイドの内容となっています。

自立活動の様子



自立活動の
指導



指先を上手に使う「身体の動き」、あたたかい言葉掛けをする「人間関係の形成」、失敗しても心を落ち着かせて取り組む「心理的な安定」等、個別に目標を設定し、学習に取り組んでいます。



予定表を使える
ようになった!



体幹が強くなって
集中できるようになった!

自立活動指導のイメージ図